

電子書籍サービスの導入について

1. 主旨

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、区立図書館は長期にわたり全面休館を余儀なくされ、来館を前提としたほぼすべての図書館サービスを提供することができなかった。この間、利用者からは、資料の提供、読書機会を求める声が多く寄せられた。このことから第2次図書館ビジョンでも検討していたICTを活用した電子書籍サービスを、今後の感染拡大に備え早急に導入し、休館や一部サービス休止の際でも、利用者が来館せずとも自宅等から利用できる環境を整備することにより、図書館サービスの業務継続を図るとともに、身体の障害等により来館が困難な方々の読書機会の拡充を図る。

2. 電子書籍サービスの概要等

(1) 概要

電子書籍サービス提供事業者と契約し、クラウド上に「世田谷区電子書籍サービス」サイトを構築する。利用者は図書館窓口で利用申込（IDの交付）後、図書館ホームページから電子書籍サービスへログインし、コンテンツを自分のパソコン、スマートフォン等で貸出・閲覧ができ、貸出期間が経過すると自動的に返却される。希望資料が貸出中の場合は予約することも可能。

(2) サービス内容等

サービス名称

世田谷区電子書籍サービス

サービス開始

令和2年11月初旬

蔵書数（コンテンツ数）

当初約4,000タイトル想定

利用対象

世田谷区立図書館利用登録者で区内在住・在勤・在学者

貸出数・予約数

貸出数2点、予約数2点

貸出期間

2週間

(3) サービス提供事業者

教育長を委員長とする「電子書籍サービス導入検討委員会」を設置し、コンテンツの充実度、検索機能やアクセシビリティなどのサイトの利用しやすさ等を総合的に判断し、下記の事業者の電子書籍サービス「LibrariE&TRC-DL」を選定した。

- ・ 事業者名 株式会社図書館流通センター
- ・ 代表者名 代表取締役 細川 博史
- ・ 所在地 東京都文京区大塚3丁目1番1号

3. 経費（税込）

- (1) 令和2年度総経費 694万4千円 令和2年11月～令和3年3月
導入経費 182万9千円
・初期導入費 77万円
・図書館システム改修経費 105万9千円
運営経費 約511万5千円
・標準クラウド利用料 月額14万3千円
・コンテンツ追加利用費用 年間約440万円(約1000タイトル)
- (2) 令和3年度以降の年間経費 611万6千円
・標準クラウド利用料 月額14万3千円
・コンテンツ追加利用費用 年間約440万円(約1000タイトル)

4. 周知方法

- (1) 区ホームページ・図書館ホームページ 11月初旬掲載予定
(2) 施設内ポスター掲示 11月初旬掲示予定
(3) ツイッター 11月初旬発信予定

5. スケジュール

- 令和2年 9月～ 電子書籍サービスサイト設計、図書館システム改修、コンテンツ選書等
11月初旬 区民周知（区ホームページほか）
電子書籍サービス開始